



広報

慈光

第121号

令和8年7月



「あやめ観賞」

編集・発行

社会福祉法人 長井福祉会

特別養護老人ホーム慈光園

慈光園デイサービスセンター

慈光園中央デイサービスセンター

在宅介護支援センター慈光園

ケアハウス ウエルフェア慈光園

発行責任者 皆川善典

山形県長井市小出3453番地

TEL 0238(88)2711

FAX 0238(88)2712

ホームページアドレス

<http://nagai-jikouen.jp/>

印刷 (株)サンノー企画印刷



慈光園福祉事業のさらなる飛躍のために

長井福祉会理事長 豊野 充

長井福祉会慈光園は 昭和59年4月に創設され、今年で42周年を迎えました。ケアハウスウエルフェアも開設後22年になりました。

現在特養入所定員140名、ショートステイ入所定員20名であり、ケアハウスが50床、デイサービスセンター定員35名、中央デイサービスセンターも定員35名となっています。

昨年は山形県より「やまがたダイヤモンドスマイル企業」の最高基準認定を受けました。また山形労働局長より「ベストプラクティス企業」として選定されました。これらは慈光園の職場環境が評価されたもので大変光栄なことでした。

慈光園の設立に際しましては、金井神地区の皆様には、貴重な土地提供など献身的なご協力を頂きました。また特養光会の皆様には、開設以来入所者の洗濯物整理や園内清掃など、多大なご協力を頂きました。

市内の小学校・中学校・高等学校から、定期的に奉仕活動を頂いております。さらに若柳会、良絃会、市内の保育園・幼稚園などの皆様にも、四季折々の行事に参加していただいております。

今年度の具体的な事業目標としては、

第1に、食事提供体制の改革であります。ニュークックチル方式の導入を決定し、現在その準備を進めております。これは業者から冷凍食などで購入し、直前に解凍・加温して提供するというものです。

第2に、生産性向上における介護テクノロジー導入の検証をしております。眠りスキャンとWi-Fiインカム、見るツチIV、ソフトタブレット端末などの導入により、職員の身体的負担軽減は100%、精神的負担軽減は88%という結果を得ております。また時間外労働は81

時間の減、有給休暇取得は252時間の増という結果を得ました。

第3は、マンパワー確保についてです。

職員による紹介制度の強化、外国人就労者の支援充実です。また高校、短大、大学への訪問求人活動も今まで通り行っております。介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修も継続してまいります。

第4は職員研修の強化です。認知症に関する研修、たんの吸引に関する研修、排泄、口腔ケアに関する研修、職員研究発表への支援と推進などであります。昨年度の職場内研究発表では、最優秀賞は調理課の「つけ忘れ、つけ間違いを防ぐために」に決定しました。代替え食の把握をお互いに声がけし間違いをなくすというものでした。優秀賞は6棟の「眠りが見えると心構えが変わる」という、眠りスキャンを有効に利用した研究でした。佳作は経理課の「利用者請求業務の効率化」となり、入所者の請求業務につき入力と作業時間を大幅に短縮できたというものでした。

第5は、社会貢献活動の充実です。これは地域の皆様のご支援とご協力のもとに私たちの福祉事業ができていることに感謝するため、可能な限りのボランティア活動を行って地域貢献を担うということです。

私たちは今後もご利用者の人生の重みを受け止め、「敬意を込めた介護」に当たって参ります。創設のころを忘れずに「知識・技術・心」この三位一体の均整のとれた介護に努めてまいります。今後とも関係各位の皆様にはご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和7年度 社会福祉法人長井福祉会決算状況

資金収支計算書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日
(単位:円)

事業活動収入	1,150,418,235
事業活動支出	1,066,680,069
事業活動資金収支差額	83,738,166
施設整備等収入	3,829,000
施設整備等支出	40,681,426
施設整備等資金収支差額	△ 36,852,426
その他の活動収入	12,017,007
その他の活動支出	47,021,676
その他の活動資金収支差額	△ 35,004,669
予備費	0
当期資金収支差額合計	11,881,071
前期末支払資金残高	980,066,606
当期末支払資金残高	991,947,677

事業活動計算書

(自)令和7年4月1日 (至)令和8年3月31日
(単位:円)

サービス活動収益	1,134,229,486
サービス活動費用	1,130,826,369
サービス活動増減差額	3,403,117
サービス活動外収益	17,317,809
サービス活動外費用	1,326,669
サービス活動外増減差額	15,991,140
経常増減差額	19,394,257
特別収益	3,829,000
特別費用	3,829,024
特別増減差額	△ 24
当期活動増減差額	19,394,233
前期繰越活動増減差額	1,760,767,855
当期末繰越活動増減差額	1,780,162,088
その他の積立金取崩額	0
その他の積立金積立額	30,000,000
次期繰越活動増減差額	1,750,162,088

貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

流動資産	1,038,253,512	流動負債	91,909,674
		固定負債	240,817,821
		負債の部合計	332,727,495
		基本金	37,937,000
固定資産	2,154,095,549	国庫補助金等特別積立	305,722,478
		その他の積立金	765,800,000
		次期繰越活動増減差額	1,750,162,088
		純資産の部合計	2,859,621,566
資産の部合計	3,192,349,061	負債および純資産の部合計	3,192,349,061

※詳細はホームページまたは長井福祉会事務所において閲覧等の方法により開示します。

令和8年度開園記念式典

令和8年6月18日、社会福祉法人長井福祉会慈光園の令和8年度開園記念式典が執り行われました。昭和59年度の事業開始から42周年を迎えました。法人理念である「敬意を込めた介護」を胸に、各々原点に立ちかえり、今後も役職員一丸となり、より良いサービスを提供してまいります。

式典では永年勤続表彰が行われ、計18名の職員が表彰を受けました。



観桜会



「白鷹町の十二の桜」を
楽しんでました



バスハイク

めざみの里で
そばをいただきました



つつじ観賞



きれいでかわいいお花も
ありがとう♡

自ゆり保育園



あやめ観賞

ご登録をお願いいたします

ほかにも、慈光園からのお知らせや情報などラインやフェイスブックにて発信しておりますので、ぜひご登録ください。



facebook



Instagram



LINE



七夕

受講者募集

慈光園介護職員初任者研修(通信課程)

「介護」の資格の第一歩。自分のペースで学べる通信課程。未経験でも働きながら学べます。

研修期間／8月26日(水)～翌年2月17日(水)

研修日時／水曜日午後6時～

及び日曜日午前9時～

会場／ウエルフェア慈光園
(ドリームホール)

又は慈光園(研修室)

募集定員／20名(受講者5名以上で開講)

費用／受講料40,000円

テキスト代 7,124円(税込)

申し込み／7月21日(火)から8月12日(水)まで
申込書等を提出

〈問い合わせ〉電話 0238-88-5557



令和7年度 職場内研究発表表彰

最優秀賞

調理課

『つけ忘れやつけ間違いを防ぐために』

ご利用者の嚥下機能や提供量、さらに嗜好に合わせた食事を提供するなかで、つけ間違いやつけ忘れをなくし安心安全な食事を提供するにはどうすればよいか、対策を検討しました。思い込みで行動せず職員間での声がけと確認を徹底すること、数多くある情報を一か所にまとめて整理しておくことが大切であると再認識しました。

今回の取り組みで得られた対策を今後の業務に活かし、安全かつ適切な食事提供に努めたいと思います。

優秀賞

6棟

『眠りが見えると、心構えが変わる』

眠りスキャン（睡眠状態や呼吸・心拍数を測定できるシート型センサー）を使用し睡眠状態を確認しています。そのなかで、呼吸増加の検知が鳴ると何日か後に熟発する利用者が多くみられ、体調不良の早期に発見につながるのではないかと、眠りスキャンのデータと体調変化について研究をしました。

今回の研究をとおりて、睡眠状態を客観的なデータとして把握し体調変化とあわせて観察することで、より適切なケアにつなげることができると思いました。利用者一人ひとりの健康状態に配慮したケアを実践していきたいと思ひます。

佳作

経理課

『利用者請求業務の効率化』

この度、職場内研究発表で佳作という評価をいただき、大変光栄に思ひます。

今回、請求データのCSV取り込みと銀行振替データ連携による自動化について発表しました。この取り組みにより、1回あたり100分の作業時間を削減する事ができ、業務の効率化と負担軽減、送信ミスの防止につなげることができました。まだまだ改善すべき点は多くありますが、今後は、他事業所への横展開も進め更なる業務改善、業務品質向上に努めていきたいと思ひます。



土砂災害訓練

令和8年7月1日(水)、土砂災害を想定した避難訓練を実施しました。近年、全国的に大雨や台風による自然災害が頻発し、最近のニュースでも甚大な被害が取り上げられることが多くなりました。万が一に備え、日頃から定期的に訓練を行い、ご利用者の安全に努めてまいります。



編集後記

桜、つつじ、あやめと青空の下できれいな花を眺めながら、ご利用者の皆様の嬉しそうな笑顔を拝見できました。また、現場では外国人職員が、慣れない日本の生活様式や方言を含む難しい日本語の勉強に奮闘しながら、介護業務に真摯に向き合ってくれています。そんな頼もしい仲間たちの活躍に支えられています。

7月31日には、今年度の夏祭りを開催予定です。ご利用者やご家族様に喜んでいただけるよう、実行委員会を中心に準備を進めております。

今後も生活の質の向上を目指して、敬意を込めた介護に精進してまいります。

広報委員

◎飯澤 亮平 高橋 蒼生
○平間 佐枝子 ミヨタダニエツ
長沼 ゆかり 梅津 千秋
佐藤 幸子 大山 真弓
小笠原 吉美 鈴木 芳子
アメリカレス 菅野 佑里子

